

ごみ減量・3R活動優良事業所 取組内容情報提供シート

<取組内容>

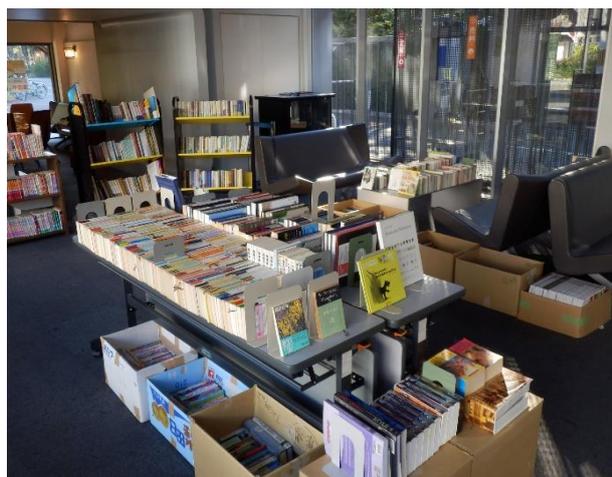
(記入日 平成29年10月31日)

事業所名	国立大学法人京都工芸繊維大学	認定番号	2901001
所在地	京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地		
取組内容	リデュース (発生抑制)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減・分別収集システムを構築して運用。 ・ESMSで紙使用量の削減目標値を設定(1%減/年)。 ・両面コピーおよび不要紙の裏面利用の推進。 ・伝達手段などのペーパーレス化(電子メールの利用など)。 	
	リユース (再使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みコピー用紙など裏紙利用。 ・「物品リユースシステム」により、不要物品等のリユース情報を学内に周知し、再利用。 ・毎年11月に古本の無料市「KITぷらっとお持ち帰りフェア」を開催。 	
	リサイクル (再資源化)	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収リサイクル用のごみ箱を設置(あきびん、あき缶、PETボトル、生活系プラスチック)。 ・廃棄物集積場で、再資源化できる缶類(飲料缶)、びん類(飲料びん、薬品びん)、PETボトル、生活系プラスチックを分類。生活系プラスチックも80%以上をリサイクル。 ・PETボトルのふたも回収ー「エコキャップ運動」に協力。 ・古紙の分類について、2013年度から従来の新聞、白上質紙、段ボール、シュレッターダスト紙などに「雑がみ」を加えて6種類とし、積極的に回収・リサイクルを実施。 ・生協など食堂で廃油を回収し、リサイクル。 ・紙コップを回収し、トイレットペーパーなどにリサイクル。 ・廃PET自動回収機を設置し、PETリサイクル事業を実施。 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に新入生オリエンテーション、環境安全教育デーなどでESMSの教育・研修、講演会などを実施。 ・エコ月間(6月)に公開講演会などを実施。 ・未利用資源有効活用研究などで未利用の繊維製品、農業・森林資源の活用に関する先端研究を実施(野菜シートやカラフルマグネットバーのリサイクル事業化など)。 	
取組紹介 web ページ	http://www.ems.kit.ac.jp/15/kankyo_2016.pdf		
環境マネジメントの取組等	ISO14001, エコアクション21		

取組写真 情報提供シート

取組①

(写真)



(説明)

・毎年11月に古本の無料市「KIT ぷらっとお持ち帰りフェア」を開催している。図書館で不要となった図書や、教職員・学生、地域住民、OB・OGから提供を受けた図書を利用者に無償で提供することで、図書の有効活用と、読書や図書館活動に関心を持ってもらうことを目的に、読書週間に合わせて実施している。

取組②

(写真)



(説明)

環境マネジメントシステムでは2001年から全教職員と学生に環境関連法、化学物質管理、廃棄物管理などの教育研修を行ってきたが、2012年より毎年4月第3週の1日を「環境安全教育デー」として通常の講義は行わず、防災、環境管理及び安全管理などについて学んでいる。

2013年からは毎年この日に京都市の方に来ていただき、廃棄物管理やリサイクルについて、啓発のための講演を行っていただいている。

取組③

(写真)



(説明)

環境マネジメントシステムでは、外国人留学生のために日本語版の環境方針に加えて英語版と中国版を作成し、教育研修のテキストも英語版を作成して配布している。

2016年4月からは環境と安全を一元化した環境安全マネジメントシステムとしたため、環境安全方針も新たに3カ国語で作成した。教育研修もテキストに加えてパワポ資料も英語版を作成し、全学生・教職員への周知徹底を行っている。